

アピール

すべての子どものゆたかな学びを保障する 自主的・組織的な教研活動の充実を！

私たちは、第75次教育研究全国集会を三重の地で開催し、全国各地からのべ8,000人の参加者が集いました。全体集会はWebで行い、幅広い参加形態となり、多くの組合員等への発信となりました。

全体集会では、『出あえて、よかった』すべてのいのちにかがやきを…』というテーマで、「人権」という観点から記念講演を行いました。講演では、福永さんの一人芝居の後、ブルボンヌさんとの対談を行い、だれもがアンコンシャス・バイアス(無自覚の偏見)をもっているなか、人権課題をいかに解消していくのか、福永さんの「一人の100歩より、100人の1歩」という言葉にあったように、子どもたち一人ひとりの「人権」を大切にし、人権課題の解決にむけ、とりくんでいくことの重要性が共有されました。

分科会では、「カリキュラム・オーバーロード」の解消が早急に求められる中、分会から積みあげ、組織教研で深められたリポートをもとに討議が行われました。また、戦後80年が経過し、平和教育の重要性・継続性の大事さや、外国につながる子どもたちの学びの保障、「学校の働き方改革」にむけての職場での改善例などのとりくみも報告されました。子どもの教育を受ける権利や人権等の観点から、自分の実践を見つめ直し、なかまから多くのことを学ぶ機会になりました。

特別分科会では「学校から出発する男女共同参画を」というテーマで講演とシンポジウムを行いました。男女雇用機会均等法が施行されて40年をむかえる今、男女共同参画が遅々としてすすまない要因の一つが、学校や私たち教職員にあるのかもしれないという問いから、考えを深める場となりました。

今次教研では、各地域における教育課題を改めて共有するとともに、ゆたかな学びを保障する教育実践について討議・交流を行いました。これからも、全国のなかまとともに、平和・人権・環境・共生を柱に、憲法・子どもの権利条約の具現化と民主教育の確立にむけ、教育実践をより一層充実・発展させていきましょう。

2026年1月25日

日教組第75次教育研究全国集会